

地域再生制度（地方創生関係交付金・企業版ふるさと納税）の概要

【地域再生制度の概要】

- 地方公共団体が、地域再生計画を作成し、内閣総理大臣の認定を受けた場合に、当該計画に記載された事業について国からの財政又は税制の支援が受けられる
- 事業にKPIを設定し、毎年度、効果検証を行うことが必要

1. 地域再生計画の概要

- ・地域再生法に基づき、地域が行う自主的かつ自立的な取組を各種支援措置で効果的に支援するもので、地域経済の活性化及び地域雇用の創造等を実現することを目的として地方公共団体が計画を作成し、内閣総理大臣による認定を受けた計画
- ・地方版総合戦略等の法律に基づく諸計画との調和が図られること
- ・認定基準（①地域再生基本方針に適合するもの、②当該地域再生計画の実施が当該地域における地域再生の実現に相当程度寄与するもの、③円滑かつ確実に実施されると見込まれるもの）

2. 地方創生関係交付金の概要

- ・地域再生計画に記載された事業のうち、先導的な事業への支援
- ・デジタル田園都市国家構想の実現による地方の社会課題解決・魅力向上の取組を加速化・深化

地方創生推進交付金⇒デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）
 ：主にソフト事業が対象

地方創生拠点整備交付金⇒デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ）
 ：主にハード事業（施設整備）が対象
- ・補助率は1／2

3. 企業版ふるさと納税の概要

- ・正式名称は地方創生応援税制
- ・地方公共団体が行う地方創生事業に対し企業が寄附を行った場合の、税制上の優遇措置
 ※ただし、本社が所在する地方公共団体以外への寄附に限定
- ・令和2年度の制度改正により、税の軽減効果が最大9割（現行の損金算入3割、税額控除6割）に拡大。また、地域再生計画の認定手続が簡素化され、個別の事業ごとの認定から、包括的な認定が可能となった。

恵那市の地域再生制度（地方創生関係交付金・企業版ふるさと納税）の活用状況

1. 現在認定済みの地域再生計画及び適用支援措置

No.	地域再生計画【計画期間】	適用支援措置 【適用年度】	今回 効果 検証	備考
①	恵那市アウトドア・リゾート拠点施設整備事業計画【R3～R7】	地方創生拠点整備交付金【R3】	○	
②	安心して暮らせるまち。誰もが使いやすい交通ネットワーク形成プロジェクト計画【R4～R6】	地方創生推進交付金【R4～R6】	○	
③	恵那未来キャンパス構想の実現計画【R5～R7】	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）【R5～R7】	○	
④	恵那市たべる推進計画【R5～R7】	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）【R5～R7】	○	
⑤	ぎふリニア活用人の流れ創出プロジェクト【R4～R6】	地方創生推進交付金【R4～R6】	－	広域計画 （岐阜県、7市町）
⑥	世界ラリー選手権（WRC）をいかした三河・東濃地域の山村及び産業振興に向けたまちづくり事業【R4～R7】	地方創生推進交付金【R4～R7】	－	広域計画 （豊田市、恵那市）
⑦	恵那市まち・ひと・しごと創生推進計画【R3～R6】	企業版ふるさと納税【R3～R6】	－	

※⑥～⑧の事業は以下の理由により今回の委員会で効果検証を実施しません。

- ・⑥、⑦は、広域連携事業であり当市は代表団体ではなく、事業の取りまとめやKPI算出、効果検証は代表団体にて実施している。そのため、こちらの事業については、事業概要の報告のみ。
- ・⑧は、恵那市では地方版総合戦略に記載された全事業を一つの地域再生計画にまとめて認定を受けることができる包括的な認定を受けており、議事（1）（2）にて効果検証をするため、報告のみ。

地方創生関係交付金事業の効果検証について

1. 地方創生関係交付金事業の効果検証（事業評価）について

- ・効果的なPDCAサイクルの構築による地方創生の推進にあたり、地域再生計画及び支援措置を適用して行う事業について、KPIを設定し、進捗に基づいて毎年度効果検証を行うことが必要です。
- ・恵那市では「市総合計画推進市民委員会」を外部有識者として位置づけ、地方創生関係交付金事業の効果検証にあたり意見等をいただきます。
- ・「1. 現在認定済みの地域再生計画及び適用支援措置」のうち、①～④の事業について、それぞれ、事業の実施状況である「事業効果検証シート（参考資料含む）」をご覧ください、令和6年度への事業実施に向けたご意見を賜りますようお願いいたします。

2. 効果検証の実施方法

（1）担当課の効果検証等

内閣府への事業実施報告書様式の基準に準じて効果検証を行うこととし、事前に担当課において効果検証を実施しています。別紙「事業効果検証シート」中、「事業効果」・「今後の方針」については、以下に基づき検証等を行いました。

【事業効果】

区 分	内 容
①地方創生に非常に効果的であった	全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②地方創生に相当程度効果的であった	一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③地方創生に効果があった	KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進、改善したとみなせる場合
④地方創生に対して効果がなかった	KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進、改善したと言い難いような場合
⑤効果の有無はまだわからない	整備対象施設の供用開始前等の理由により、効果発現時期がまだ到来していないような場合

※⑤については、拠点整備の場合のみ選択可

【今後の方針】

区 分	内 容
①事業の継続	計画通りに事業を継続する（または、概ね同内容で継続する）
②事業の発展	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる
③事業の改善	事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う（または、行った）
④事業の縮小	—

⑤事業の中止	継続的な事業実施を予定していたが中止する（または、した）
⑥事業の終了	当初予定どおり事業を終了する（または、した）

（２）外部有識者による事業の効果検証

同様に、内閣府への事業実施報告書様式の基準に準じて、「外部有識者による事業の効果検証」欄の内、「評価」欄については、総合計画推進市民委員会委員の意見を踏まえて以下から選択します。

【評価】

区 分
①本事業は地方版総合戦略のK P I 達成に有効であった
②本事業は地方版総合戦略のK P I 達成に有効とは言えなかった

恵那市アウトドア・リゾート 拠点施設整備事業

令和6年3月21日
商工観光部観光交流課



恵那市公式キャラクター エーナ



目 次

1. 概要
2. 改修事業エリアと拠点施設
3. 施設のコンセプト
4. 効果
5. 重要業績評価指標（K P I）
6. 今後の取り組み



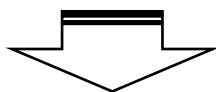


1. 概要

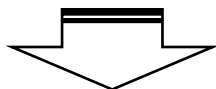
根の上高原国民休養地を自然環境を最大限活用した
フルシーズン楽しむことができるグランピング施設に改修



恵那市のアウトドア・パークの拠点



「自然やアウトドアレジャーを楽しみたい幅広い観光客」を呼
び込み、宿泊＝滞在時間の延長による消費の拡大



経済効果の創出、地域活性化





2. 改修事業エリアと拠点施設

○改修事業エリア

- (1) 恵那山荘本館エリア
- (2) 湖畔エリア
- (3) テニスコートエリア

○整備施設

(1) 恵那山荘



(2) 湖畔エリア





2. 事業費、改修エリアと拠点施設

(3) テニスコートエリア

ドームテント



ファイヤーピット



バーベキューテラス



ドームテント内



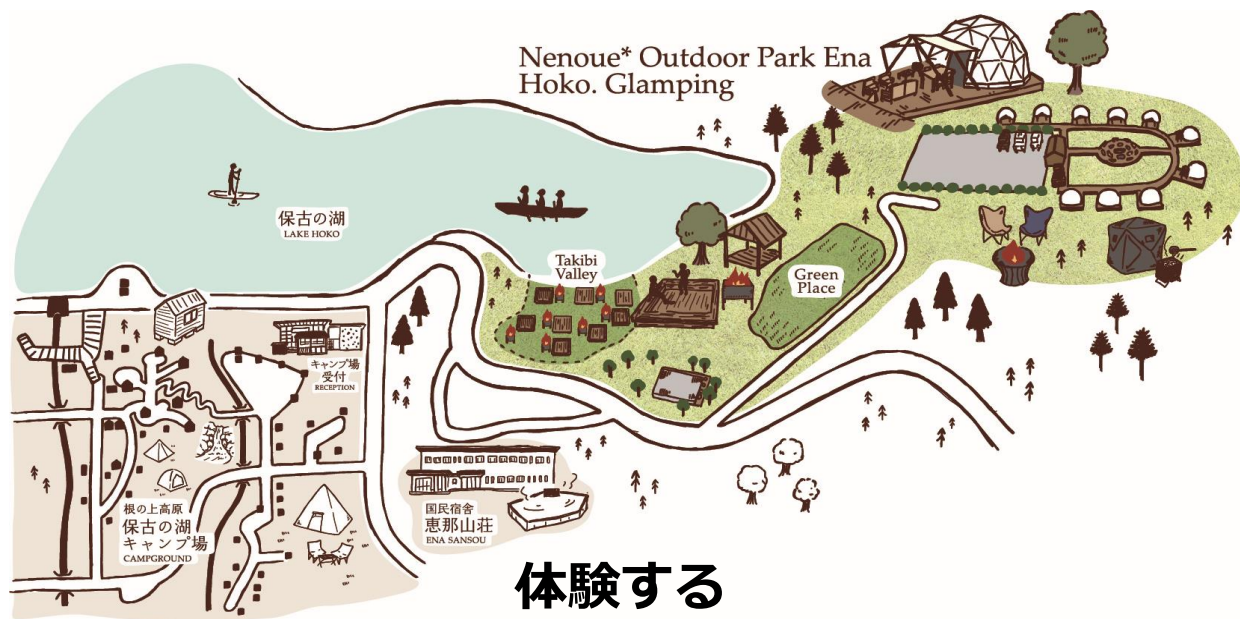
管理棟





3. 施設のコンセプト

湖と焚き火が創り出す、唯一無二のグランピングリゾート



泊まる



食べる





4.効果

県内外より多くの来場者があり、恵那市の観光人口にもつながった

○ 実施事業

- (1) グランピング・ウエディング
- (2) ネイチャリングツアー付宿泊プラン 16回実施
- (3) 小中学校の研修（東野小学校はグランピング宿泊体験）、企業の研修
交通遺児団体の貸切合宿
- (4) 販路の拡大に向け、各OTAとの契約を拡大

グランピング・ウエディング



ネイチャリングツアー





5. 重要業績評価指標（K P I）

No.	重要業績評価指標（K P I）の名称	単位	事業開始前		1年目 R3年度	2年目 R4年度	3年目 R5年度	4年目 R6年度	5年目 R7年度	累計
①	根の上高原国民休養地施設利用収入	千円	37,384	目標値	37,384	127,614	134,056	140,208	159,583	598,845
				実績値	27,509	118,179	104,494			250,182
				達成率						41.8%
②	根の上高原国民休養地宿泊者数	人	1,893	目標値	1,893	5,969	6,248	6,522	7,366	27,998
				実績値	6,001	10,945	9,040			25,986
				達成率						92.8%
③	市観光消費額	億円	87	目標値	87.00	95.00	96.00	97.00	100.00	475.00
				実績値	81.00	93.00	115.00			289.00
				達成率						60.8%
K P I の状況、未達成の理由等		K P I ③はR4の数値。令和5年度は現時点でK P I ①は目標を達成することができなかったが、K P I ③は昨年度より大きく達成率を伸ばすことができた。引き続き、当施設を拠点とした市内の体験型アクティビティを結ぶ回遊づくりを進めていき、施設と一体となった利活用を図ったうえで、誘客に繋げていくことができるよう努力をしていく。								

※表中の「達成率」は、各年度ごとに「実績÷目標×100（％）」で算出しています。達成率が100％以上で達成となります。

※対象事業経費、内交付金額、重要業績評価指標（KPI）実績値の下線は見込値





6. 今後の取り組み

新たな取り組み等

- ・インバウンド向けネイチャリングツアーの実施 英語版HP開設
- ・ネイチャリングツアー付宿泊プランの拡大 20本 → 40本
- ・地元事業者との連携 観光農園付き宿泊プランの販売

○ネイチャリングツアーツアー内容（5種）

- ・火起こし体験
- ・おいしい森の恵み体験
- ・朴葉寿司づくり体験
- ・源流の水飲み場ツアー
- ・ハンモックツアー



○英語版HP



○観光農園付き宿泊プラン

- ・いちご狩り体験





恵那市 地域公共交通の取組み

～持続可能な地域公共交通の実現を目指して～

令和6年3月21日
まちづくり企画部交通政策課





目次

1. 本市が目指す地域公共交通の姿
2. 取り組み体制
3. 具体的な取り組み
4. 目標の達成状況
5. 重要業績評価指標（K P I）
6. 今後の取り組み
7. P D C Aサイクル





1. 本市が目指す地域公共交通の姿

沿線地域の特性

- ・ 岐阜県東濃地域に位置し、山間地が面積の多くを占める。
- ・ 人口は、恵那市 46,948人、中津川市阿木地域 1,969人（R5.12.1現在）

明知鉄道沿線地域公共交通計画

（計画期間：令和元年～8年度）

基本方針

多くの担い手が連携し、
多くの方々が安心して暮らし、
おでかけできるまち

目標

- 1 公共交通を「支える」「活用する」
地域住民の活動促進
- 2 沿線への移住定住を促す
地域公共交通ネットワークの形成
- 3 域外から来た人や高齢者が抵抗なく
自然に移動できる環境の整備

公共交通ネットワーク図

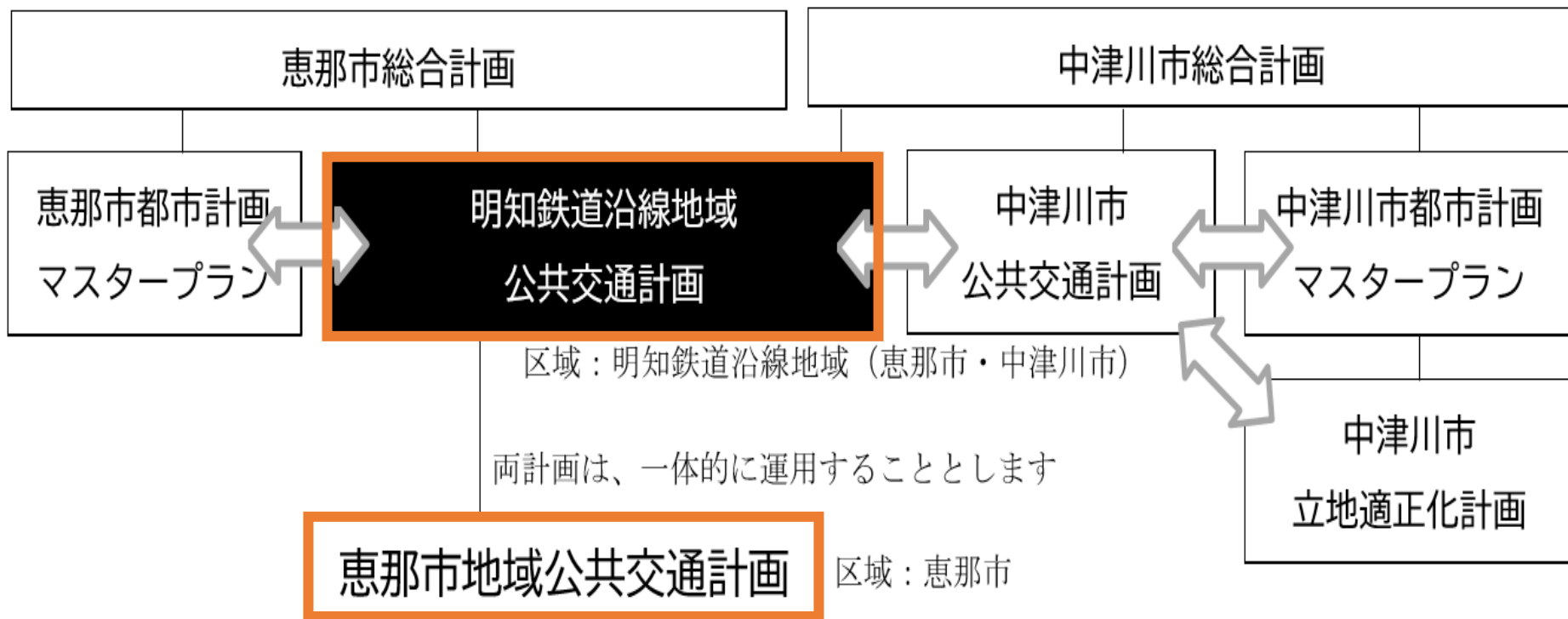




2. 取組み体制

恵那市の地域公共交通の目的

明知鉄道を基軸とした公共交通ネットワークの構築による
誰もが利用しやすい新たな移動サービスの提供と、
これを生かした**持続可能なまちづくり**





3. 目標達成に向けた具体的な取組み

目標1 公共交通を「支える」「活用する」地域住民の活動促進

公共交通シンポジウム

とき：R5/12/10
会場：明智文化センター
参加者：200人



公共交通利用促進冊子

A4フルカラー24ページ
市内全戸に配布



バス乗り方教室

小学校 2回
各地区 15回
イベント 5回





3. 目標達成に向けた具体的な取組み

目標2 沿線への移住定住を促す地域公共交通ネットワークの形成

まちなか巡回バス（地方創生推進交付金対象事業）

実績 R4 : 9,165人／年 ⇒ R5 : 10,000人／年（見込み）

増便 R4 : 平日**10便**・休日6便⇒ R5 : 平日**13便**・休日6便



シェアサイクル事業

利用状況

R5.10 : **117回、64人**

ステーション

R4 : **5カ所** ⇒ R5 : **13カ所**



バス路線の再編

旧恵那地区

- ・新規4路線、
- ・路線延長5路線

明智地区

- ・まちなか巡回線
- ・デマンド路線

上矢作地区

- ・デマンド路線



バス運賃の見直し

運賃の統一

市内**1乗車 200円**
(デマンド 300円)

定期券の再設定

最大 18,000円
⇒**1ヶ月定期 5,000円**

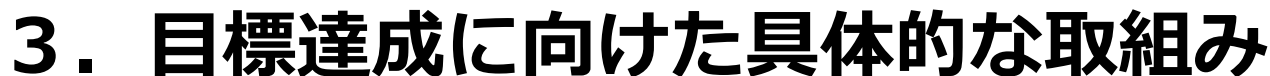
運賃割引(75歳以上)

1乗車100円で乗車できる
ワンコインパスポート発行

市内バス

1日フリー乗車券 500円





目標3


域外から来た人や高齢者が抵抗なく自然に移動できる環境の整備

人とアプリによる「交通コンシェルジュ」 の設置（地方創生推進交付金対象事業）



- ・ポータルサイト <https://www.ena-transportal.net>
- ・公式LINEアカウント <https://lin.ee/IFmVNEm>

移動環境の整備

- ・明知鉄道の3駅に
- デジタルサイネージを設置**
- ・バス1日フリー乗車券の**オンライン決済**
 - ・デマンドバス予約のオンライン化
 - ・バス車両に**路線番号を表示**
 - ・恵那市内全バス停にバス停ごとの
- QRバーコードシールを設置**
- ・バス車両と明知鉄道車両に
- 乗降カウント用カメラを設置**
- ・複数のバス停を1本に統一
- 

明知鉄道・東鉄バス専用案内		佐賀駅	
15:07 無印	14:50 荒川梅田	2	
16:15 朝霧	15:05 豊橋駅前	2	
17:33 朝霧	15:20 豊橋駅	2	
	15:30 嵐山	2	
	15:45 久留米	2	





4. 計画目標の達成状況とその理由の考察

地域公共交通計画における目標

アウトプット指標		H29実績		R4実績	R5実績	R8目標		達成度
目標1： 公共交通を「支える」「活用する」地域住民の活動促進	公共交通を「活用」する団体数	6団体	→	7団体 (R3)	7団体 (R4)	11団体	→	63%
	ボランティア運転手養成講座参加者数	0人/年	→	16人/年 (R3)	37人/年 (R4)	30人/年	→	123%
目標2： 持続可能な地域公共交通ネットワークの形成	公共交通などで沿線4高校に通える中学校数	7校	→	7校	8校	9校	→	89%
	自主運行バス利用者 満足度	94.6%	→	95.1%	97.0%	96.0%	→	101%
目標3： 域外から来た人や高齢者が抵抗なく自然に移動できる環境の整備	観光による公共交通利用者数 (観光列車、日帰り旅コース) (4月～翌年3月締)	16,222人	→	3,999人 (R3)	12,840人 (R4)	16,000人	→	80%
	グリーン会員証の発売枚数 (4月～翌年3月締)	963枚	→	676枚 (R3)	733枚 (R4)	900枚	→	81%
	うち 上矢作地区(フィーダー) 明智地区(フィーダー)	24枚 260枚		13枚	20枚 205枚	30枚 260枚		67% 79%





4. 計画目標の達成状況とその理由の考察

地域公共交通計画における目標

アウトカム指標	H29実績		R4実績	R5実績	R8目標値		達成度
1. 基幹路線（明知鉄道）の 年間利用者数 （4月～翌年3月締）	380,889人/年 定期外 162,489人/年 通勤定期 14,040人/年 通学定期 204,360人/年	→	253,354人/年 定期外 96,366人/年 通勤定期 11,628人/年 通学定期 145,360人/年 （R3実績）	272,087人/年 定期外 128,967人/年 通勤定期 10,990人/年 通学定期 132,130人/年 （R4実績）	384,000人/年	→	71%
2. 広域幹線・幹線・市街地 循環線の年間利用者数 （前年10月～9月締）	220,117人/年	→	119,561人/年 （R4実績）	104,661人/年 （R5実績）	204,000人/年	→	51%
3. 地域路線の年間利用者数 （前年10月～9月締）	117,732人/年 （達成度97%）	→	84,386/年 （R4実績）	78,967/年 （R5実績）	101,000人/年	→	93%





5. 重要業績評価指標（K P I）

No.	重要業績評価指標（K P I）の名称	単位	事業開始前		1年目 R4年度	2年目 R5年度	3年目 R6年度	4年目 R7年度	5年目 R8年度	累計
①	まちなか循環線の年間利用者数	人	7,200	目標値	8,700	10,200	11,700			30,600
				実績値	9,165	10,000			19,165	
				達成率					62.6%	
②	明知鉄道・バスの年間利用者数	人	503,713	目標値	540,370	577,027	613,684			1,731,081
				実績値	483,079	468,272			951,351	
				達成率					55.0%	
③	自主運行バス利用者数の満足度	%	91.00	目標値	92.00	93.00	94.00			94.00
				実績値	95.00	97.00			97.00	
				達成率					100.0%	
④	人身事故発生件数	件	72	目標値	66	60	54			54
				実績値	65	56			56	
				達成率					96.4%	
K P I の状況、未達成の理由等		特にK P I ①③④は順調で増加傾向である。K P I ②も明知鉄道利用者も前年度より増加傾向であり、コロナ前の利用者数である目標値に近づいている。②のバス利用者について、大幅に減少しているのはR 5. 4の路線再編に伴い、自主運行バスで通学していた明智町の小中学生がスクールバスに移行したことが要因である。しかし、現在の鉄道とバス利用者数は、昨年度同月より増加傾向のため、K P I ①②も順調である。								

※表中の「達成率」は、各年度ごとに「実績÷目標×100（%）」で算出しています。達成率が100%以上で達成となります。

※対象事業経費、内交付金額、重要業績評価指標（KPI）実績値の下線は見込値





6. 今後の取り組み方針

今後の取り組み方針

- ・バス乗り方教室やイベントを通じた**モビリティマネジメント**の取り組み、令和6年度中に**目標値の見直し**
- ・**移動可視化データの活用**、鉄道・バス・タクシーなど**複数の交通モードによる一体的な公共交通網の構築**
⇒実情に合った持続可能な公共交通ネットワークを目指す。

目標1：公共交通を「支える」「活用する」地域住民の活動促進

- ・公共交通シンポジウムの開催（12月）
- ・乗り方教室（地域・学校・イベント）の開催（通年）
- ・公共交通を活用した**スタンプラリー**の開催（3月～）
- ・高校生とコラボした**公共交通利用促進PR活動**



目標2：持続可能な地域公共交通ネットワークの形成

- ・移動可視化データによる一体的な交通ネットワークの再編（バス・鉄道・シェアサイクル）
- ・上矢作線、明智地域路線の再編
- ・高校生の通学支援
- ・シェアサイクルのステーション検討（利用可視化データを基にステーションの移設や増設等）
- ・共通乗車券の検討（JR、明知鉄道、バス、タクシー）

地域と共に検討

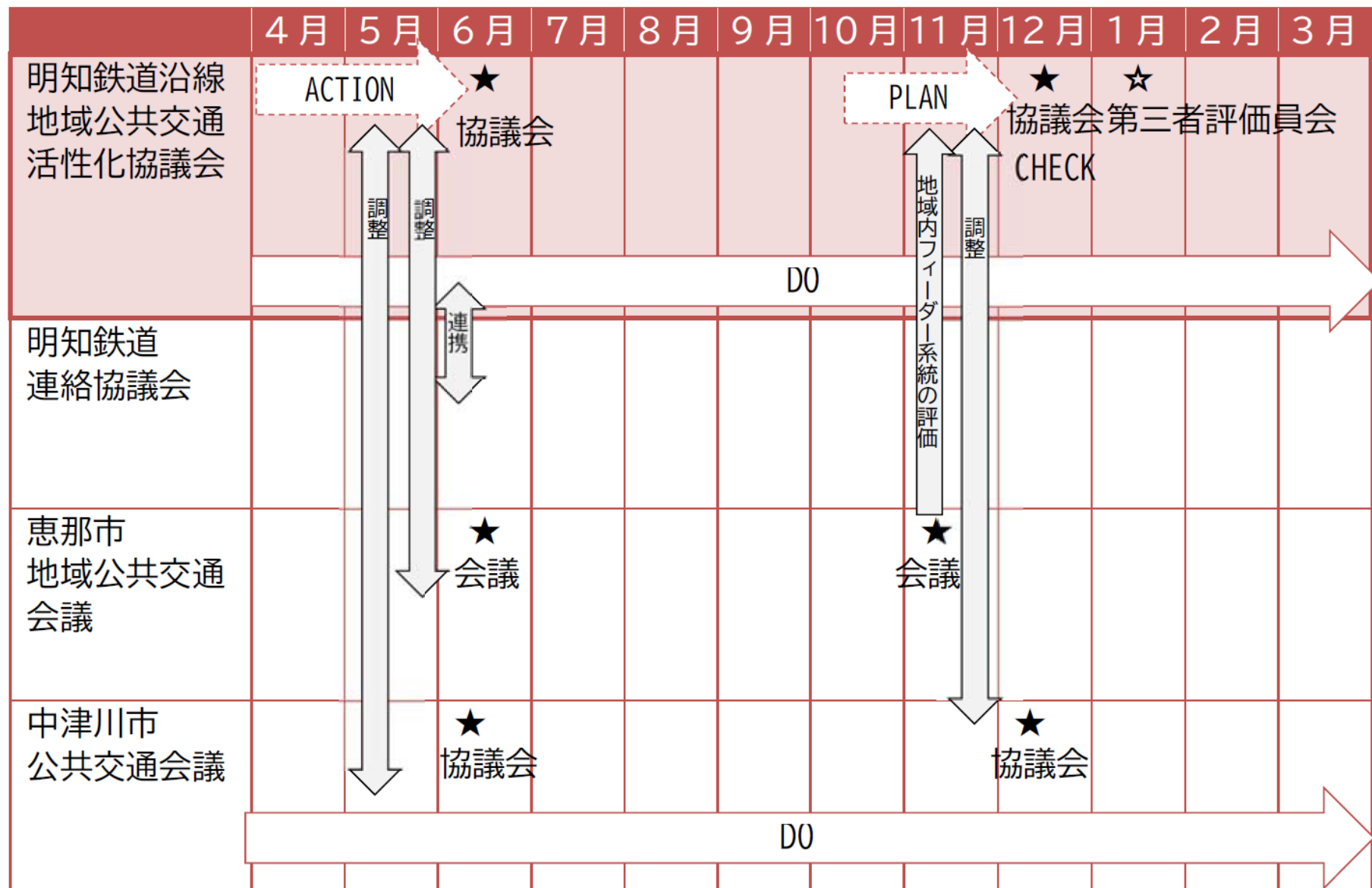
目標3：域外から来た人や高齢者が抵抗なく自然に移動できる環境の整備

- ・恵那市交通コンシェルジュの機能強化と拡充
 高齢者等「お手軽デマンドバス予約機能」の追加
 スタンプラリー機能追加
 公共交通を利用した旅コースの増設
- ・各施設と連携した利用促進（周知、スタンプラリー、お得利用策）





7. PDCAサイクル



恵那未来キャンパス構想の実現



令和6年3月21日
まちづくり企画部企画課



恵那市公式キャラクター エーナ



目 次

1. 概要
2. 現状・動向
3. 取り組み
4. 事業の効果
5. 重要業績評価指標（K P I）
6. 今後の取り組み



恵那未来キャンパス
Ena Mirai Campus





1. 概要

- 多様な学びの場を新しく創出し恵那市の将来を担う人材育成を目的に、令和4年3月に『**恵那未来キャンパス構想**』を策定。
- 当市の課題である若い世代の人口流出の解決に向け、若い世代と地域をつなぎ、やりがいやスキル・経験が得られる「**新たな学びの場（恵那未来キャンパス）**」を整備。
- 地元企業や高校、大学などと協働・共創より専門的で具体的な地域課題の解決につなげるとともに、地域との結びつきを深め、将来を担う人材を育成し、若い世代の定着につなげる。



所在地	岐阜県恵那市大井町180番地1 パロー恵那ショッピングセンター2階 えなえーる横
面積	48.25㎡
席数	22席
主要用途	講座・セミナーの開催、学習スペース
設備	大型モニター、電源、FREE Wi-Fi
開業	2023年7月24日
管理運営	恵那中央出張所運営協議会
事業実施	恵那未来キャンパス企画会議





2. 現状・動向

【登録・利用状況】

	登録者数
7.8月	227名
9月	333名
10月	358名
11月	395名
12月	423名
1月	460名

	利用者数
7.8月	346名
9月	391名
10月	225名
11月	275名
12月	262名
1月	315名
合計	1,814名

【恵那未来キャンパスイベント一覧（抜粋）】

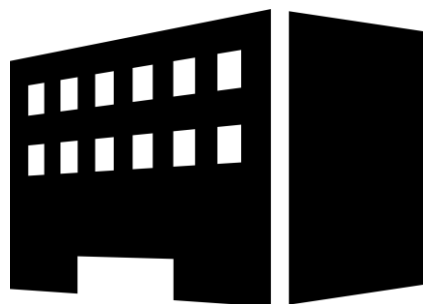
開催日	講座名	受講者数	講師
7/24	データサイエンス講座	9名	法政大学院生
8/9,10 8/28	デザイン×デジタルWORK SHOP「恵那未来キャンパス看板制作」	5名	市内事業所
8/16～8/18	プログラミング講座	9名	市外事業所
7/24～ 8/20	デジタルコンテンツ体験「紙アプリ」	延べ141名	市内事業所
9/12～ 11/28	稼ぐスキル習得講座 ノーコードツールで出来るweb サイト制作講座	11名	市外事業所
10/17,24	地域で活躍するITエンジニアを 目指す！セミナー	述べ17名	市外事業所
10/25	ソフトバンクAI教室	4名	市外事業所
11/5	ロボットプログラミング講座	35名	市外事業所
12/3	チラシ作成講座	7名	市内事業所
12/20	未来を切り開くSNS活用ガイド	6名	市外事業所
12/22	ChatGPT講座	14名	市外事業所
1/24	SNS活用講座	6名	市外事業所
2/9,19	デザイン・ホームページ基礎講座	延べ21名	市外事業所
2/14,21	ライター講座	延べ16名	市外事業所
3/9,10,19	ITチャレンジ2024	—	市外事業所





3. 取り組み

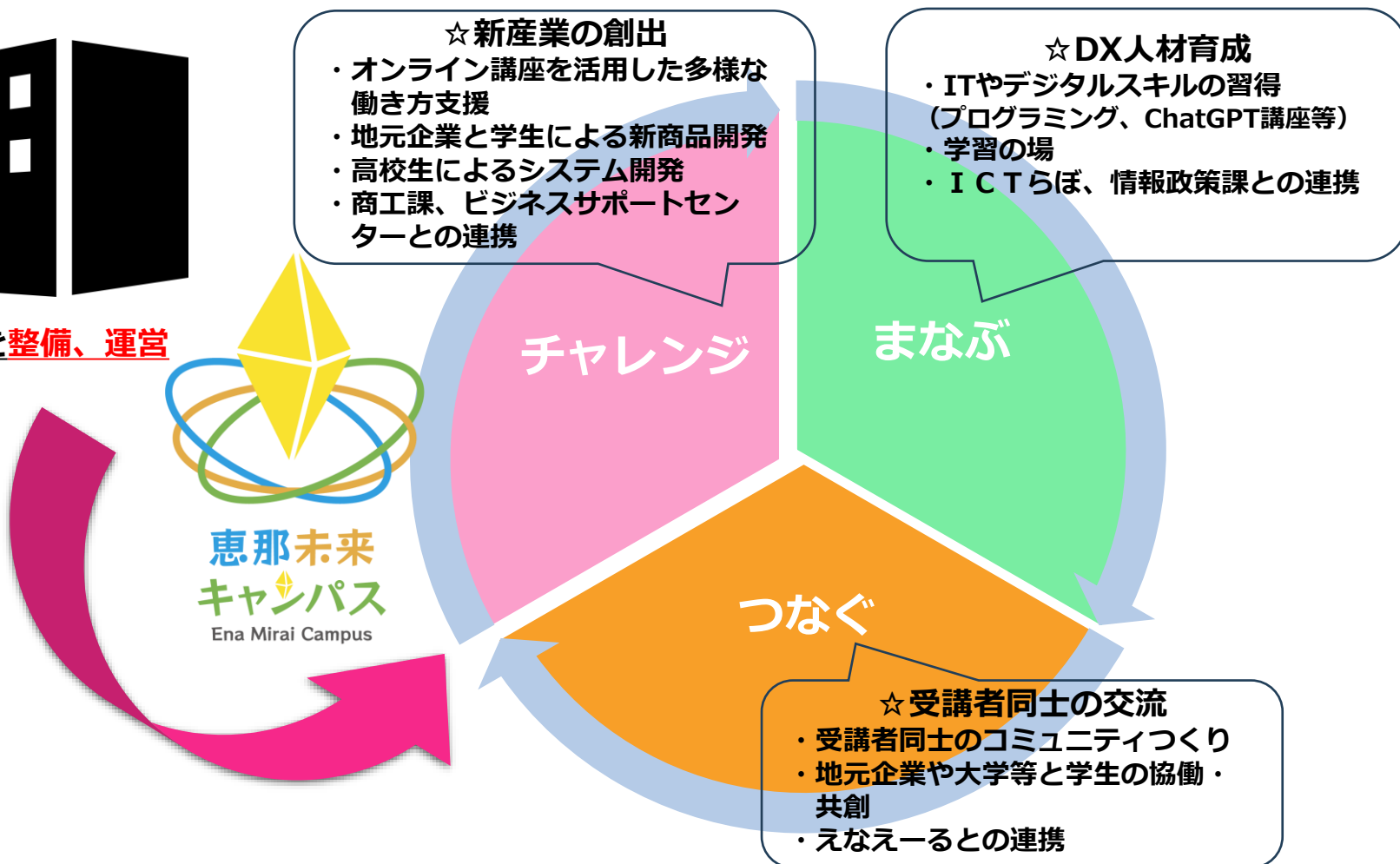
恵那未来キャンパスが目指す『3つの柱』



学びの拠点を**整備、運営**



恵那未来
キャンパス
Ena Mirai Campus





3. 取り組み



(1) プログラミング講座

開催日：R5.8/16,17,18（全3日） 参加者：9名

概要：高校生を対象にしたプログラミング講座
（JavaScript使用）。

地元にも社員がいる事業所が講師となり
3日間でゲームを制作。

最終日にはそれぞれのゲームを発表した。



(2) 地域で活躍するITエンジニアを目指す！セミナー

開催日：R5.10/17,24 参加者：1回目 6名、2回目 11名

概要：実際にIT業界で働いている人が講師となり

ITシステムやIT業界のリアルを解説。

IT業界の実情を知るきっかけとなり、

将来について考える参加者もあった。





3. 取り組み



(1) データサイエンス講座

開催日：R5.7/24 参加者：高校生9名 他

概要：法政大学院生の研究（人狼ゲームをデータサイエンスを用いた研究）を市内高校生がオンラインで学ぶ講座。

研究以外にも大学や大学院の生活についても知ることができ参加者からは研究や生活について活発な質問が出ていた。



(2) ロボットプログラミング

開催日：R5.11/5 参加者：小学生35名

概要：恵那ロータリークラブとの共催により、東京から講師を招いて小学生がキューブ型のロボットをプログラミングをして絵本の上を動かすプログラミング体験会。

定員を増すほど反響が大きく次回を望む声があった。





3. 取り組み



(1) デザイン×デジタルWORK SHOP「恵那未来キャンパス看板製作」

開催日：R5.8/9,10,28（全3日）参加者：5名

概要：市内事業所2社が講師となり高校生や大学生等が恵那未来キャンパスの看板を制作。
デザインについて学びながら参加者で未来キャンパスのロゴを考えた。
また、企業見学を行い看板が出来るまでの工程を見学後、最終日には未来キャンパスの看板を実際に制作した。



(2) 稼ぐスキル習得講座 ノーコードツールで出来るwebサイト制作講座

開催日：R5.9～11月 第2,第4火曜日（全6日）

参加者：11名

概要：在宅でも出来る仕事の一例としてWebサイト制作のスキルとともに、実際に仕事の獲得の仕方等フリーランスで働くための知識も習得する講座。
受講者同士で教えあうなど3ヵ月間の講座の中でスキルのほかに仲間づくりも出来た。





4. 事業の成果



主な受講者の声

- Webデザインのスキルと働き方について学べたので、今後自分の仕事を考える上で大変参考になりました。（Webサイト制作講座受講者）
- 自分は工学系に進んでみようと思っており、くわしく分からなかったので今日をきっかけにいろんな業界を知ることが出来たし何をすべきか目的を考えることができたので良かった。
（未来を切り開くSNS活用ガイド受講者）
- プログラムはコンピュータだけでなく生活の中でもプログラムがあるとわかりました。
（ロボットプログラミング体験者）
- 年代が全く違う人たちが集まっただけの交流もあり良かったです。少人数だったので参加しやすかったです。さらに、自分の知らないサイトを知ることができ、もっと興味を持ってました。今日学んだことを活かしていきたいと思います。（チラシ作成講座受講者）



情報発信

Webサイト、Instagram、Facebook、LINEにて情報発信

- Webサイト閲覧数 : 9,356回（1/31時点）
- Facebookフォロワー : 41名（1/31時点）
- Instagramフォロワー : 97名（1/31時点）
- LINEお友達登録 : 380名（1/31時点）





5. 重要業績評価指標（K P I）

No.	重要業績評価指標（K P I）の名称	単位	事業開始前		1年目 R5年度	2年目 R6年度	3年目 R7年度	4年目 R8年度	5年目 R9年度	累計
①	市外転出者のうち「職業上」を理由とする者の割合	%	44.20	目標値	43.27	42.34	41.41			41.41
				実績値	39.03					39.03
				達成率						100.0%
②	20～39歳女性人口に占める20～39歳女性転出者数の割合	%	-2.63	目標値	-2.37	-2.11	-1.85			-1.85
				実績値	-10.39					-10.39
				達成率						0.0%
③	大学生がまちづくり活動に携わった回数	回	9.00	目標値	11.00	13.00	15.00			39.00
				実績値	9.00					9.00
				達成率						23.1%
④	高校生の市内事業所への就職率	%	20.68	目標値	22.12	23.56	25.00			25.00
				実績値	21.52					21.52
				達成率						86.1%
K P I の状況、未達成の理由等		K P I ②においては、大幅に落ち込んでいるが、当事業は初年度であるため、今後の事業実施および、他の定住施策や子育て支援施策の拡充・実施による相乗効果を図り目標達成に向け増加していくと見込んでいる。K P I ③では、新型コロナウイルス感染症の第五類移行による行動制限が無くなったこと及び、今後の事業実施により目標達成できると見込んでいる。								

※表中の「達成率」は、各年度ごとに「実績÷目標×100（％）」で算出しています。達成率が100%以上で達成となります。

※対象事業経費、内交付金額、重要業績評価指標（KPI）実績値の下線は見込値





5. 今後の取り組み

恵那未来キャンパス周知度アップ

講座の充実・継続

高校・大学との連携



課題：①人材育成につなげる長期的な視点に沿った
講座の企画

②民間のノウハウを活かした運営を含めた
潤滑な運営方法の構築



大学と若い世代に選ばれる地域づくり





恵那市たべる推進事業

令和6年3月21日
農林部農政課



恵那市公式キャラクター エーナ



目 次

1. 地方創生として目指す将来像
2. 現状・動向
3. 取り組みと成果
4. 重要業績評価指標（KPI）
5. 今後の取り組み





1. 地方創生として目指す将来像

- 地域の強靱な基盤となる**域内循環型経済・社会の形成**
- 商品やサービスづくりにオール恵那で取り組み、
恵那市らしさを地域の魅力として磨き上げる。
- 観光振興から食産業振興まで幅広い波及効果を生み出し、
所得向上、雇用機会拡大など農業を含めた**食産業が**
持続的に発展する地方都市を目指す。





2. 現状・動向

- ・ 市内飲食店における市内からの調達率

80%（飲食店の希望） → **30%**（実際） **-50%**

- ・ 恵那市の農業経営体数

2,428（2010年） → **1,421**（2020年） **41%減**

☆ 地元で食材を仕入れたい者は多くいるが供給できていない

☆ 農家は年々減少傾向にあり、供給する体制が失われている





3. 取り組みと成果

取組① 恵那ふうど認証制度

- ・ 恵那市の風土（市内産農畜産物や食文化など）を活用した商品やサービスを提供するとともに、SDG s に取り組む事業者を認証する

《成果》

10月から募集開始

→ 17事業者を認証



恵那ふうど認証事業者（認証証明書交付式）





3. 取り組みと成果

取組② 発酵のまちづくり推進

- ・ 醤油、味噌、酒、漬物といった本市の食文化である発酵食品を産業振興や市民の健康意識の向上に取り入れる「発酵のまちづくり」を推進する

＜＜成果＞＞

- ・ 発酵の学校 → 48人の発酵食品ソムリエを育成
- ・ 全国発酵食品サミット → 18,000人を集客
- ・ 新たな発酵商品開発を支援 → 5事業者が新商品を開発



発酵食品ソムリエ（発酵の学校）



全国発酵食品サミットinえな



発酵唐辛子入りジビエソーセージ



3. 取り組みと成果

取組③ 地域商社ジバスクラム恵那

- ・ 地域で生産される農畜産物の販売出口としての役割を担う
- ・ 地域商社が本市の食の拠点として、市内事業者の地元産野菜のニーズを把握し、農家での生産へとつなげる

《成果》

新たな販路として、51,254千円を販売



ジバスクラム恵那



HOKOグランピングのメニュー





4. 重要業績評価指標（KPI）

No.	重要業績評価指標（K P I）の名称	単位	事業開始前		1年目 R5年度	2年目 R6年度	3年目 R7年度	4年目 R8年度	5年目 R9年度	累計
①	市内飲食店が使用する食材の地元産調達率	%	29.80	目標値	33.20	36.60	40.00			40.00
				実績値	33.20					33.20
				達成率						83.0%
②	恵那ふうど認証取得事業者	事業者	0.00	目標値	10.00	20.00	30.00			30.00
				実績値	16.00					16
				達成率						53.3%
③	地域商社ジバスクラムの売上高	千円	11,837	目標値	86,000	92,000	98,000			276,000
				実績値	63,091					63,091
				達成率						22.9%
④	認定農業者数	人 (事業所)	74.00	目標値	75.00	76.00	77.00			77.00
				実績値	77.00					77.00
				達成率						100.0%
K P I の状況、 未達成の理由等		K P I ①②④は特に順調である。恵那ふうど認証、発酵新商品開発補助などにより、地元農産物を利用する意識が高まり、飲食店の認証取得意欲が向上した。また、市内事業者等、具体的に販路が拡大したことで、認定農業者を取得して農業の規模拡大を目指す農家の数が増加した。K P I ③は、地域商社として地元農作物の域内外での販売を展開しているが、特色ある農産品を提供できず、売上高の目標を達成できなかった。そのため、目標達成に向け青果販売だけでなく、アウトドア、レジャー等宿泊や観光との連携により販路を拡大する必要がある。								

※表中の「達成率」は、各年度ごとに「実績÷目標×100（%）」で算出しています。達成率が100%以上で達成となります。

※対象事業経費、内交付金額、重要業績評価指標（KPI）実績値の下線は見込値





5. 今後の取り組み



“おいしい野菜”で食と農をつなぎ、 持続する農業の仕組みをつくる

夏季冷涼で中山間地域特有の昼夜の温度差のある気候を生かして
栽培された新鮮な野菜を様々な形で消費者へ届ける

農家・畜産



- ・農家の所得向上
- ・働く意欲の向上
- ・高品質な作物提供
- ・農地利用の拡大

飲食店・小売・宿泊・
医療・介護・学校給食



- ・満足度の高い商品提供
- ・売上、販路の拡大
- ・企業イメージの向上
- ・安心安全な商品の提供

消費者
家庭・子ども・観光客



- ・恵那ならではのおいしい「食」
- ・顔の見える安心安全な「食」

食の川上から川下をつなぎ、恵那市を活性化する



令和 5 年度 恵那市 企業版ふるさと納税寄附実績

○当市の企業版ふるさと納税について

- ・令和 3 年度国より、地域再生計画「恵那市まち・ひと・しごと創生推進計画」（計画期間令和 3 年度～令和 6 年度）の認定を受け、企業版ふるさと納税寄附企業の募集を開始。
- ・寄附受領実績は、令和 3 年度 1 件（非公表）、令和 4 年度 5 件（30,600,000 円※非公表除く）、令和 5 年度 6 件（30,400,000 円※非公表除く）※令和 6 年 1 月末時点
- ・令和 3 年度は、寄附募集パンフレットを作成。
- ・令和 4 年度は、パンフレットを活用し寄附募集するとともに、ジカンダまちおこし株式会社と寄附募集業務委託契約を締結し、当市と接点のない企業得への営業活動、掘り起こしを行い、一定の成果を得ることができた。
- ・令和 5 年度は、新たに株式会社 JTB 岐阜支店と寄附募集業務委託契約を締結して委託営業範囲を全国に拡大したが、相談案件はあるものの寄附受入には至っていない。
- ・次年度以降も、寄附獲得に向け寄附募集予定。

○当市の寄附受領状況（令和 6 年 1 月末時点）

- ・市ホームページにて、寄附をいただいた企業を掲載。
（公表をご了承いただけたご寄附のみ、受領順で掲載）

【令和 3 年度 寄附件数：1 件 寄附額：非公表】

寄附企業	寄附金額（円）	寄附によって応援する事業
非公表	非公表	ふるさと学習読本のデータ化と冊子増刷事業

【令和 4 年度 寄附件数：10 件 寄附額：31,800,000 円※うち 5 件寄附額非公表】

寄附企業	寄附金額（円）	寄附によって応援する事業
シンク・エンジニアリング株式会社	非公表	誰もが使いやすい交通ネットワーク形成プロジェクト
株式会社フォーラムエイト	30,000,000	フォーラムエイト・ラリージャパン 2022 (WRC) 開催を契機としたモータースポーツと車文化にやさしいまちづくり事業
非公表	非公表	ふるさと学習読本のデータ化と冊子増刷事業
岐阜県信用農業協同組合連	200,000	坂折棚田整備事業～耕作放棄地を活用

合会		した果樹園～
アカマツ株式会社	100,000	フォーラムエイト・ラリージャパン 2022 (WRC) 開催を契機としたモータース ポーツと車文化にやさしいまちづくり 事業

【令和5度 寄附件数：6件 寄附額：30,400,000円 ※うち2件寄附額非公表】

寄附企業	寄附金額（円）	寄附によって応援する事業
岐阜県信用農業協同組合連 合会	200,000	坂折棚田整備事業～石積補修と石積技 法の伝承～
合同会社 New Every Day	100,000	フォーラムエイト・ラリージャパン 2023 (WRC) 開催を契機としたモータース ポーツと車文化にやさしいまちづくり 事業
株式会社カナエジオマチッ クス	100,000	誰もが使いやすい交通ネットワーク形 成プロジェクト
株式会社フォーラムエイト	30,000,000	フォーラムエイト・ラリージャパン 2023 (WRC) 開催を契機としたモータース ポーツと車文化にやさしいまちづくり 事業
株式会社コラント	非公表	フォーラムエイト・ラリージャパン 2023 (WRC) 開催を契機としたモータース ポーツと車文化にやさしいまちづくり 事業
非公表	非公表	ふるさと学習読本のデータ化と冊子増 刷事業

※市ホームページより抜粋